

昭和 5 9 年 9 月招集

第 3 回館山市議会定例会会議録

館山市議会

目 次

◎第1号（9月13日）

開 会	9
議長の報告	9
会議録署名議員の指名	10
会期の決定	10
会議日程の決定	10
議案第54号～議案第63号、認定第1号～認定第8号 （提案理由の説明）	11
延 会	17
本日の会議に付した事件	18

◎第2号（9月17日）

開 議	21
行政一般通告質問	22
石井 武敏君の質問、当局の応答	22
田沢 勝信君の質問、当局の応答	36
川名 正二君の質問、当局の応答	50
流山源次郎君の質問、当局の応答	59
日下 君敏君の質問、当局の応答	70
山中金治郎君の質問、当局の応答	88
延 会	97
本日の会議に付した事件	98

◎第3号（9月18日）

開 議	102
行政一般通告質問	102
神田 守隆君の質問、当局の応答	102
横溝 功君の質問、当局の応答	119
議案第54号～議案第60号	130
田沢 勝信君の質疑、当局の応答	131
神田 守隆君の質疑、当局の応答	133
委員会付託	140

議案第 6 1 号～議案第 6 3 号	1 4 0
神田 守隆君の質疑、当局の応答	1 4 1
委員会付託	1 4 5
延 会	1 4 5
本日の会議に付した事件	1 4 5
○第 4 号（9 月 1 9 日）	
開 議	1 5 0
認定第 1 号～認定第 8 号	1 5 0
石井 武敏君の質疑、当局の応答	1 5 0
神田 守隆君の質疑、当局の応答	1 6 4
安西 益男君の質疑、当局の応答	1 7 9
決算審査特別委員会の設置、付託、委員の選任	1 8 3
請願第 5 号	1 8 4
説明	1 8 4
委員会付託	1 8 5
陳情第 2 号	1 8 5
委員会付託	1 8 5
延 会	1 8 5
本日の会議に付した事件	1 8 6
○第 5 号（9 月 2 6 日）	
開 議	1 9 1
継続審査について	1 9 1
議案第 5 5 号～議案第 5 7 号、議案第 6 1 号	1 9 1
総務委員会委員長報告	1 9 2
神田 守隆君の討論	1 9 4
採決	1 9 5
議案第 5 8 号～議案第 6 0 号、議案第 6 2 号、議案第 6 3 号	1 9 6
文教民生委員会委員長報告	1 9 6
神田 守隆君の討論	1 9 8
採決	1 9 9
請願第 5 号	2 0 0

総務委員会委員長報告	2 0 0
採決	2 0 0
日程の追加・発議案第 5 号	2 0 1
説明	2 0 1
委員会付託の省略	2 0 2
採決	2 0 2
陳情第 2 号	2 0 2
文教民生委員会委員長報告	2 0 3
採決	2 0 3
日程の追加・発議案第 6 号	2 0 4
説明	2 0 4
委員会付託の省略	2 0 5
採決	2 0 5
認定第 1 号～認定第 8 号	2 0 5
決算審査特別委員会委員長報告	2 0 5
神田 守隆君の討論	2 1 1
採決	2 1 3
発議案第 3 号	2 1 4
説明	2 1 4
委員会付託の省略	2 1 5
採決	2 1 5
発議案第 4 号	2 1 5
説明	2 1 5
委員会付託の省略	2 1 6
採決	2 1 6
議案第 6 4 号	2 1 6
説明	2 1 6
委員会付託の省略	2 1 7
採決	2 1 7
議案第 6 5 号	2 1 7
説明	2 1 8

委員会付託の省略.....	2 1 8
採決.....	2 1 8
閉　　会.....	2 1 9
本日の会議に付した事件.....	2 1 9

第 3 回館山市議会定例会会議録
(第 1 号)

1 昭和59年9月13日(金曜日)午前10時

1 館山市役所議場

1 出席議員 27名

1番 神田 守隆
3番 山中金治郎
5番 川名 正二
7番 榎本 春光
9番 福原 勤
11番 飯田 義男
13番 石井 昌治
15番 渡辺 昭夫
17番 近藤 好雄
20番 石井 武敏
22番 林 豊
24番 流山源次郎
26番 石井 正
28番 安澤 徳順

2番 田沢 勝信
4番 日下 君敏
6番 生稻 陸
8番 小宮 利夫
10番 横溝 功
12番 石井 謀
14番 伊藤幸太郎
16番 松下 正己
19番 黒川 平治
21番 吉田勇治郎
23番 伊賀 多朗
25番 五十嵐 昇
27番 安西 益男

1 欠席議員 なし

1 出席説明員

市長 半澤 良一
収入役 山田 俊康
総務部長 川畑喜代志
商工観光課長 伊東 衛
建設課長 錦織 茂
都市開発室長 佐藤 勇
水道課長 石井 敏夫
教育委員会教育長 安田 豊作
選挙管理委員会事務局書記長 庄司 利光
監査事務局長 岩城 昭
農業委員会事務局長 庄司 徹

1 出席事務局職員

助役 小倉 澄男
市長公室長 斉藤 武男
民生部長 鈴木 力
農水産課長 中山 和夫
都市計画課長 安西 良一
鳩山荘支配人 張替 栄
教育委員会委員長 山口 武重
選挙管理委員会委員長 官澤 茂
委員 鈴木 重司
監査委員 斉藤 明
農業委員会会長

事務 局長 高尾 豊
書 記 兵藤 恭一
書 記 土橋 康彦

事務局長補佐 熊谷 吉雄
書 記 鈴木 哲
書 記 熊井 成和

1 議事日程（第1号）

昭和59年9月13日午前10時開議

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 会議日程の決定

- 日程第4 {
- 議案第54号 非常勤の特別職の職員に係る報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 - 議案第55号 館山市長、助役、収入役の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 - 議案第56号 館山市教育長の諸給与及び勤務条件等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 - 議案第57号 館山市市税条例の一部を改正する条例の制定について
 - 議案第58号 館山市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 - 議案第59号 館山市廃棄物処理施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 - 議案第60号 館山市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
 - 議案第61号 昭和59年度館山市一般会計補正予算（第2号）
 - 議案第62号 昭和59年度館山市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
 - 議案第63号 昭和59年度館山市老人保健特別会計補正予算（第1号）
 - 認定第1号 昭和58年度館山市一般会計歳入歳出決算の

認定について

- 認定第 2 号 昭和 58 年度館山市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第 3 号 昭和 58 年度館山市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第 4 号 昭和 58 年度館山市と畜場特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第 5 号 昭和 58 年度館山市ユースホテル特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第 6 号 昭和 58 年度館山市学童災害共済事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第 7 号 昭和 58 年度館山市水道事業特別会計収支決算の認定について
- 認定第 8 号 昭和 58 年度館山市国民宿舎事業特別会計収支決算の認定について

開 会 午前 10 時 02 分

○議長（石井 正君） 本日の出席議員数 27 名、これより昭和 59 年第 3 回市議会定例会を開会し、直ちに本日の会議を開きます。

議長の報告

○議長（石井 正君） 本定例会議案審議のため、地方自治法第 121 条の規定による出席要求に対し、お手元に配付のとおり出席報告がありましたので、御了承願います。

なお、監査委員から 7 月及び 8 月実施の監査結果、市長からコミュニティ施設建設費に係る継続事業費精算書が報告されております。それぞれお手元に配付の印刷書により御了承願います。

議案の配付

○議長（石井 正君） ただいま市長から議案並びに説明書の送付がありました。

議案並びに説明書を配付いたさせます。

配付漏れはありませんか。——配付漏れなしと認めます。

本日の議事はお手元に配付の日程表により行います。

会議録署名議員の指名

○議長（石井 正君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

10番議員横溝 功君、17番議員近藤好雄君、以上両君を指名いたします。

会期の決定

○議長（石井 正君） 日程第2、会期の決定を行います。

本定例会の会期につき議会運営協議会の意見は本9月13日から9月26日までの14日間ということであります。

お諮りいたします。会期を14日間と定めますことに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（石井 正君） 御異議なしと認めます。よって会期は9月13日から9月26日までの14日間と決定いたしました。

会議日程の決定

○議長（石井 正君） 日程第3、会議日程の決定を行います。

お諮りいたします。お手元に配付いたしました会議日程表は本定例会の大体の日取りの予定であります、議会運営協議会の意見により作成いたしました。

本定例会をおおむねこの会議日程表により運びますとともに、その間議案の追加または議事の都合等によりましてその都度これを改めることにして、大体このようにいたしたいと思ひます。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（石井 正君） 御異議なしと認めます。よって会議日程は決定いたしました。

議案の上程

○議長（石井 正君） 日程第4、議案第54号乃至議案第63号及び認定第1号乃至認定第8号を一括して議題とし、これより各議案の提案理由の説明を求めます。

提案理由の説明

（市長半澤良一君登壇）

○市長（半澤良一君） 本日、ここに第3回市議会定例会を招集いたし、当面する諸案件について御審議をお願いすることといたしました。議員の皆様方には、御多忙のところ御出席をいただきありがとうございます。

今回、提案いたします案件は、条例案件7件、補正予算3件及び認定8件でございます。

以下、その概要について御説明申し上げます。

まず、議案第54号非常勤の特別職の職員に係る報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、市議会議員に関する現行の報酬額につきましては、57年4月に改定して以来2年余りを経過しております。その後、諸物価の上昇、過去における報酬額改定の経過、さらには県内各市との均衡等を考慮いたしまして、去る7月23日に館山市特別職報酬等審議会に諮問いたしましたところ、同審議会会長より、7月27日付をもって改定の額及び改定の時期につきまして、いずれも適当と思われる旨の答申を得ましたので、この答申を尊重いたしまして、昭和59年10月1日から報酬額を改定しようとするものでございます。

次に、議案第55号館山市長、助役、収入役の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、現行の給料は、57年4月に改定されたもので、その後2年余りを経過しております。その間、一般職につきましては、本年3月定例会におきまして給与の改定が議決され、4月にさかのぼり実施されており、また、諸物価の上昇等もありますので、特別職報酬等審議会に諮問いたしましたところ、適当である旨の答申が得られましたので、この給料改定を昭和59年10月1日から

実施しようとするものでございます。

次に、議案第56号館山市教育長の諸給与及び勤務条件等に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、教育長の給料につきましても、今回、収入役の給料と同額に改定しようとするものでございます。

次に、議案第57号館山市市税条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、去る3月、地方税法等の一部を改正する法律案が国会において可決、3月31日公布、昭和60年1月及び4月から施行されることとなりましたので、館山市市税条例もこの法律改正に合わせて改正しようとするものでございます。改正の内容でございますが、個人市民税所得割の最低税率と税率適用所得階層区分の刻み幅を改正するほか、地方税法の改正に基づきまして、所要の改正をしようとするものでございます。なお、詳細につきましては、説明資料により御了承賜りたいと存じます。

次に、議案第58号館山市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、これはし尿以外の廃棄物処理手数料の改正をお願いするものでございます。

今回改正をお願いする処理手数料のうち、犬、ねこ等の死体処理につきましては昭和38年4月に、その他の一般廃棄物のうち、自己搬入処理につきましては昭和46年4月に、産業廃棄物の処理につきましては昭和47年9月に、それぞれ改正して以来据え置かれてきたものでございます。この度完成いたしました清掃センターの処理経費に見合った額を処理手数料の中で負担していただくという考えで、事業活動に伴い多量に排出される一般廃棄物につきましては、人件費を除いた処理経費を、また、市が一般廃棄物と併せて処理する木くず、紙くずの産業廃棄物につきましては、人件費を含んだ処理経費を算定の基礎とし、犬、ねこ等の死体処理につきましては、他市の状況を参考にいたしまして、改めようとするものでございます。

これらの改正にあたりましては、慎重に検討をいたしました結果を館山市清掃事業運営審議会に諮問いたしましたところ、いずれも適当と思われる旨の答申を得ましたので、し尿以外の一般廃棄物処理手数料につきましては、30kg未満無料、30kg以上は、30kg120円、40kg以上は、

10 kgにつき40 円に、産業廃棄物処理手数料につきましては、10 kgにつき70 円に、犬、ねこ等の死体処理手数料につきましては、一頭につき500 円に改めるほか、一般廃棄物処理手数料徴収に係る確定金額の端数計算につきまして、この項の廃止をお願いし、本年10 月1 日から実施しようとするものでございます。

次に、議案第59 号館山市廃棄物処理施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、この度、館山市清掃センターが完成いたしましたので、廃棄物処理施設としまして、条例中に新たに加え、適正な管理、運営を図ろうとするものでございます。

次に、議案第60 号館山市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、去る8 月、健康保険法等の一部を改正する法律案が国会において可決、同月14 日公布、昭和59 年10 月1 日から施行されることとなりましたので、館山市国民健康保険条例もこの法律改正に併せて改正しようとするものでございます。

改正の内容でございますが、退職者医療制度が設けられたことに伴い、国民健康保険加入者のうち、老人保健法の適用者を除き、被用者年金受給者につきましては8 割給付に、その被扶養者につきましては外来7 割、入院8 割給付に改めようとするものでございます。

次に、議案第61 号昭和59 年度館山市一般会計補正予算（第2 号）でございますが、歳入歳出予算の補正といたしまして、歳入歳出それぞれ1 億3 364 万7 000 円を追加し、総額9 7 億3 883 万8 000 円としようとするものでございます。

歳出のうち、主なものといたしまして、総務費では、コミュニティ助成事業として館山、北条両地区への印刷設備の設置費で2 05 万4 000 円、コミュニティセンター西側の未造成地の造成設計委託料で4 88 万円、老人保護費負担金などの返還金で1 24 万9 000 円、これは昭和58 年度に交付を受けた国庫負担金及び県補助金のうち、精算、確定に伴いそれぞれ返還するものでございます。また、昭和58 年度以前の税収入に係る還付金及び還付加算金で3 90 万円。

民生費では、社会福祉振興基金助成金で50 万円、これは館山市社会福祉協議会が、社会福祉事業の振興と円滑な運営を行うため設置した館山市

社会福祉振興基金に対し、基金づくりの醸成を図るため助成しようとするものでございます。

農林水産業費では、農業費におきまして、いちご栽培の省力化と連作障害回避のための水耕栽培プラント購入に対する補助金で102万1000円、水産業費におきましては、水産振興事業として、外来漁船に対する給水及び給油施設充実のため受水槽及び重油タンクを設置するための補助金で1532万8000円、また、漁港整備事業として伊戸漁港航路浚渫工事請負費で180万円。

商工費では、年次的に推進しております平砂浦地区における自然環境の保全を図るための用地購入費として503万1000円。

土木費では、道路橋梁費におきまして、館山幼稚園に通じる市道142号線の改良工事に伴う測量調査委託料で170万円、都市計画費におきましては、館山駅西口地区土地区画整理事業の一環といたしまして施行予定区域及び周辺地域の地形、排水路等の現況を調査し、排水基本計画を策定するための委託料で255万円、八幡都市計画道路関係で用地購入面積の変更により用地購入費293万8000円及びこれに伴う地上物件補償費で332万8000円、また、県事業として整備が進められてきました館山運動公園の野球場、テニスコート、多目的グラウンド等の完成により11月から一部供用開始となることに伴い、県と共同で開園式を実施するための委託料で100万円。

教育費では、小学校費におきまして、教育環境及び施設の整備、充実を図るため館野小学校用地の造成工事請負費として7700万円をそれぞれ追加計上いたしました。

以上、歳出の主なものについて御説明申し上げましたが、これらの財源といたしまして、使用料及び手数料、国県支出金等の特定財源で1970万1000円、そのほかを繰越金等一般財源をもって充当しようとするものでございます。

次に、議案第62号昭和59年度館山市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)でございますが、歳入歳出それぞれ1276万円を追加し、総額22億5152万8000円としようとするものでございます。これは、本年10月1日より退職者医療制度が施行されることに伴い、退職被保険

者に係る療養給付費の増による負担金1203万5000円及び退職被保険対象者の把握に要する経費として、共同事業事務費拠出金で10万円、また、昭和58年度以前の税収入に係る還付金及び還付加算金62万5000円の追加によるものでございます。

次に、議案第63号昭和59年度館山市老人保健特別会計補正予算（第1号）でございますが、前年度に、支払基金、国及び県並びに一般会計からの交付金、負担金等により事業を実施し、本年度において昭和58年度分の医療費をそれぞれ精算することとなりましたので、これに伴う医療費県負担金返還金67万円、審査支払手数料交付金返還金23万9000円の増額、また、一般会計繰出金では488万円の減額、合計397万1000円の減額補正をしようとするものでございます。

次に、認定第1号ないし第8号の諸案件は、いずれも昭和58年度館山市一般会計ほか7特別会計の歳入歳出決算の認定について、地方自治法等の規定に基づき、監査委員の意見を付して市議会の認定をお願いするものでございます。

昭和58年度の我が国経済は、米国を中心とする世界景気の回復、原油価格の低下による交易条件の改善、物価の安定等を背景とした国内民間需要の拡大、輸出及び民間設備投資の増加等によりまして、景気は緩やかではございますが、着実な回復を示しました。また、政府は、公共事業の前倒し執行等を決定するとともに、内需拡大による景気振興、市場の開放、輸入促進等を柱とする総合経済対策を打ち出すなど、きめ細かな経済運営に努めてきたところでございます。この結果、昭和58年度の経済成長率は、実質で3.7%となり当初見通し及び前年度に比べわずかながら上昇したものの依然として低い伸び率となっております。

国におきましては、経済の着実な発展と、国民生活の安定向上を図るため、行財政改革を強力に推進し、財政の対応力を回復することを緊急かつ重要な課題といたしまして、行財政の守備範囲及び受益と負担の見直し等を厳しく行い、また、公平、適正な税制のあり方の検討、特例公債依存体質からの脱却と公債依存度の引き下げに努めてきたところでございます。

一方、地方財政におきましても、地方税、地方交付税等の一般財源が、前年度当初見込額を下回ること等により、これまで以上に徹底した節減、

合理化による歳出規模の抑制に努めてもなお、引き続き巨額の財源不足を生じることとなりました。しかしながら、多様化、高度化する住民の要請を的確に受けとめ、地域特性を生かした個性豊かな魅力ある地域社会づくりを推進することが地方行政の課題となっている現状から、交付税特別会計における借り入れや建設地方債の増発等の特例措置により財源の確保が図られました。

このような厳しい環境の中で、本市の財政運営におきましては、従来にも増して行政の果たすべき役割に配意し、事務事業の見直し、行財政の簡素化と経費の節減、合理化を推進、さらに、事業の必要性、緊急度、実施の優先度を十分に検討し、節度ある財政運営を行うことに意を用いてまいりました。予算の執行に当たりましては、前年度決算審査特別委員会及び予算審査特別委員会より御指導及び要請をいただきました事項に十分留意いたしまして、人間尊重、市民生活優先を基本理念に、明るく豊かな香り高い文化福祉都市実現のため、住みよい環境づくり、福祉社会づくり、教育文化の環境づくり、産業の基盤づくりを主要施策といたしまして、健全財政の堅持を図りながら活力ある市勢の展開と住民福祉の向上に最善を尽くしてまいりました。この結果、一般会計におきましては、歳入総額107億4817万余円で、対前年度比6億4757万余円の増、歳出総額では、104億1152万余円で、対前年度比7億6850万余円の増となり、実質収支におきまして、3億3450万余円の黒字決算となりました。

また、特別会計におきましては、その運営の合理化、適正化を図りながら独立採算制の確保に努めました。

国民健康保険会計におきましては、前年度に引き続き医療費の伸びが低かったこととあわせ、国庫支出金のうち財政調整交付金の増によりまして実質収支で1億4409万余円の黒字決算となっております。

老人保健会計におきましては、昭和58年2月1日からの施行により、実質的には昭和58年度をもって1年間の事業実施となりましたが、医療費の伸びが当初の見込みより低かったことなどによりまして183万余円の剰余金となりました。

水道企業会計におきましては、前年度に引き続き拡張事業計画を立てるため、神余地区において水源調査を実施するとともに、既設水道施設等の

基本調査を行いました。また、中里より香取地区に至る間の配水管の増設工事を施工し、富崎地区での夏季における水圧低下の解消に努めました。このほか、南条、南町地区等の配水管布設替工事、長須賀、犬石地区等の配水管増設工事を施工し、より安定した給水ができるよう施設の整備に努めました。収益的収支につきましては、給水量の伸びに伴う給水収益の増により、単年度収支 2 1 2 2 万余円の利益が計上されました。一方、資本的収支におきまして 5 2 2 8 万余円の不足を生じ、過年度分損益勘定留保資金をもって補てんすることといたしました。

国民宿舎企業会計におきましては、改築以来 4 年目を迎え、宿泊及び休憩利用料金の改定を行い経営の安定化を図るとともに、より一層の諸サービスの向上に努めてまいりました。しかしながら、収益的収入につきましては低調な経済情勢下ということもあり、前年度に比較して若干の改善はみられたものの、単年度収支は 1 3 1 3 万余円の純損失となりました。

以上、昭和 5 8 年度の決算について、その概要を申し上げましたが、個々の施策につきましては決算に関する主要な施策の成果に関する報告及び歳入歳出決算事項別明細書等により御了承賜りたいと存じます。

以上、各議案に対する提案理由について御説明申し上げましたが、この会期中追加議案といたしまして、館山市固定資産評価審査会委員の選任について並びに館山市教育委員会委員の任命について市議会の同意を得たく、上程をお願いする予定でございます。

よろしく御審議のほどお願いいたします。ありがとうございました。

○議長（石井 正君） 以上で、提案理由の説明を終わります。

延 会 午前 1 0 時 2 6 分

○議長（石井 正君） お諮りいたします。

本日の会議はこれにて延会いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（石井 正君） 御異議なしと認めます。よって本日はこれにて延会することに決しました。

なお、明 9 月 1 4 日から 1 6 日まで議案調査のため休会、次会は 9 月 1

7日午前10時開会とし、その議事は通告による行政一般質問を行います。

この際、申し上げます。一般議案、補正予算についての質疑通告の締め切りは9月17日正午まで、決算についての質疑通告締め切りは9月18日正午まででありますので、申し添えます。

○本日の会議に付した事件

1 会議録署名議員の指名

1 会期の決定

1 会議日程の決定

1 議案第54号乃至議案第63号、認定第1号乃至認定第8号